



楽 楽



◆ 練習スケジュール ◆

月	日	会 場	時 間	備 考
5月	19日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	26日(土)	〃	〃	ヴォイトレ(全員対象)
6月	2日(土)	〃	〃	
	9日(土)	〃	〃	
	10日(日)	第51回 愛知県合唱祭		
	16日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	23日(土)	〃	〃	
	30日(土)	〃	〃	
	7月	7日(土)	〃	〃
14日(土)		〃	〃	
21日(土)		〃	〃	
28日(土)		〃	〃	
8月	4日(土)	〃	〃	
	11日(土)	〃	〃	
	18日(土)	〃	〃	
	25日(土)	〃	〃	

ヴォイストレーニング

～3月のトレーニングの後、毛利先生よりメッセージをいただきました。～

神谷先生の代わりにはどうていなれず、力不足で申し訳ございません・・・

ジブリ曲集から、「世界の約束」と「テルーの唄」ですが、いずれも低い音からの歌いだしですので、掘ってしまう・飲み込んでしまう事が多くありました。低音の時も声を届ける目標を前へ、先へ、遠くへという意識を持つことが重要ですね。

アカペラに関しては、まだ下稽古でしたので、短いフレーズをパートごとで順に歌っていただきました。発声はこちらの提案を色々意欲的に試して下さって、その時出来たり出来なかったりですが、その過程を他のパートが聴いていてくれていて、反応があるのでそういう雰囲気はとていいと思います。のちにこういったことはフレーズの受け渡しやハーモニーを意識する上で役に立ってくるのではないのでしょうか。ぜひ他パートへの関心を持っていただいて、4声・5声を総合的に感じられるようになるともっともっと面白いと思います！

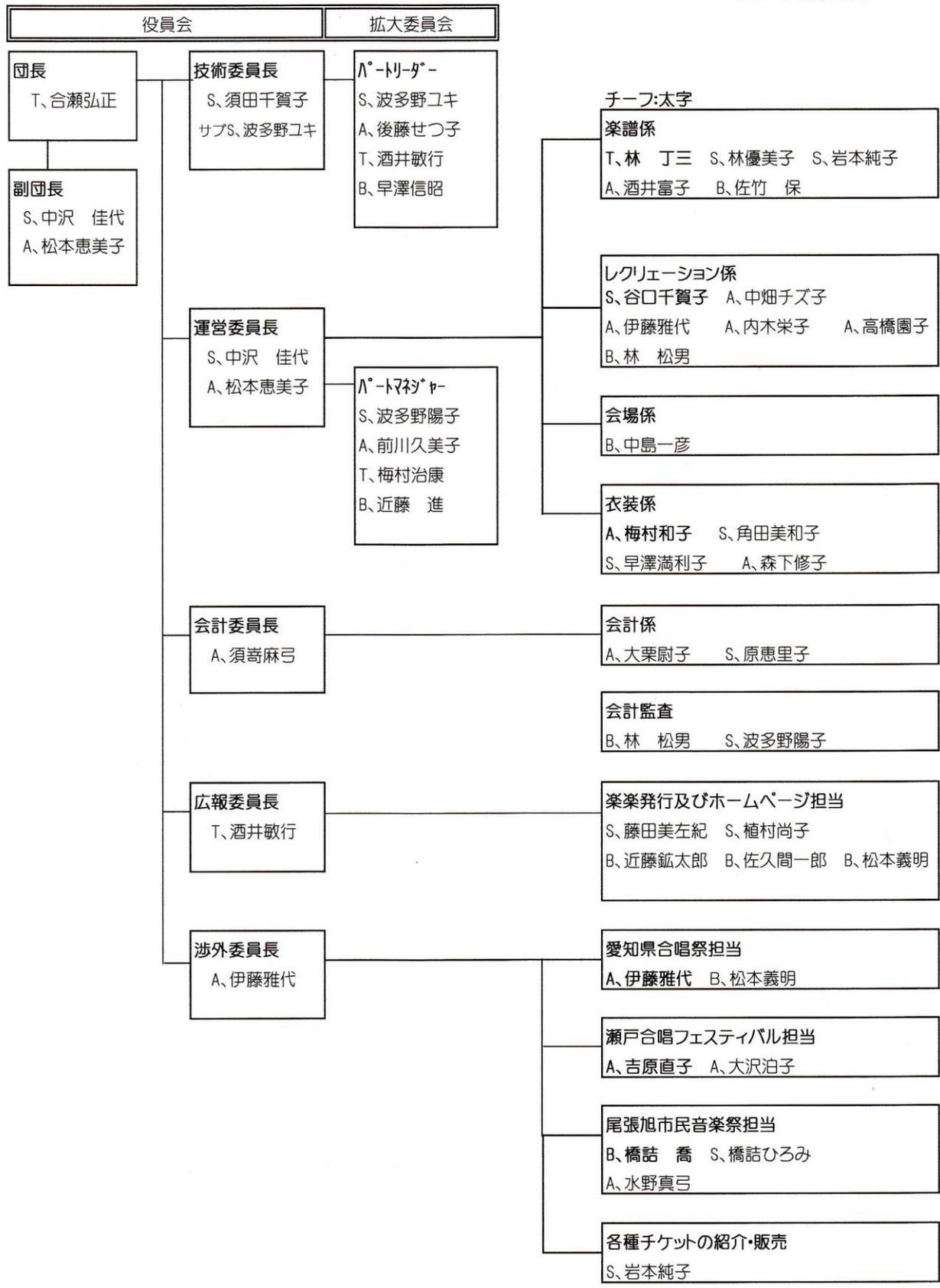
毛利美奈子



◇24年度の新しい組織及び各係りがきまりました。みなさんよろしくお願いたします。

◇H24年度 旭混声合唱団組織及び役割分担◇

H24年5月13日





愛知県合唱祭への参加についてのお知らせ

今年も例年同様出演致します。今年の参加要領は下記のとおりです。

旭混声合唱団は、中ホールで「OPグループの」最後トリで歌います。各グループの最後に歌う団体の指揮者がグループの全員合唱を指導する事となり、神谷先生が「OPグループ」の合唱指導をされます。練習時間もあまり有りませんが、先生に恥をかかせないためにも練習頑張りましょう。

記

〈日時、場所〉 H24年6月10日 稲沢市民会館 中ホール

〈集合時間、場所〉 12時30分 昼食を済ませてフロントプラザ（大ホール入り口と中ホール入り口脇の広場）に集合。

※弁当を持参する人については中ホールに弁当部屋が用意される予定。（詳細は後日）

※中ホールホワイエに入ったら係員が練習室に案内してくれる。（12時40分頃）

〈団の練習：練習時間〉 12時50分～13時10分の20分間 場所は大ホール2Fの練習室3

練習終了後、中ホールに移動し、3時40分には中ホールの指定座席に着席する。（※別添図参照）

〈全員合唱の練習開始時間〉 13時45分 全員合唱曲：「いつまでも いつまでも」

〈「OPグループ」の演奏開始〉 14時05分 終了予定は15時40分（「OPグループ」は12団体）

〈出番〉 15時33分

現地への交通 公共交通機関：JR稲沢駅下車 徒歩20分 ・名鉄国府宮駅下車 徒歩15分

自家用車の分乗：8台が動員可能、4人×8台 32人以上が搭乗可能

※6/2日の練習日までにパートマネージャさんは、参加人員の確認、それぞれの現地への交通手段（自家用車分乗希望者は誰の車を希望するか）を把握して下さい。

当日のステージ衣裳 上着ポロシャツ（ユニホーム）下：パンツ（ズボン）色は自由、靴も自由、スニーカーでも可。 ※着替え室はありません。

お願い

例年のことですがチケットの販売要請があります。団としての要請枚数は一般用30枚と小中高生用5枚です。合唱祭を成功させるため1枚でも多く売りたいと思いますのでご協力をお願いします。パートマネージャさんに5/26の練習日にチケットをお渡ししますので取りまとめをお願いします。以上

■ イベント情報 ■

★オペラ歌手集団 樹（kodachi） 第10回ガラ・コンサート

日 時：2012年6月24日（日） 午後4時開演

会 場：しらかわホール（名古屋市伏見）

入場料：¥4,000（全自由席）

*ドニゼッティ 歌劇「ラ・ファボリータ」ほか

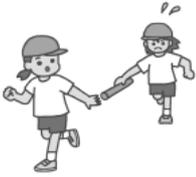
★東海メールクワイアー 第55回定期演奏会 「清水 脩 作品特集」

日 時：6月24日（日） 午後1時30分開演

会 場：愛知県芸術劇場コンサートホール

入場料：¥2,000（全自由席）

*「月光とピエロ」、「青い照明」ほか



～こころをつなぐインタビューリレー～

ベースの松本さんからのバトンパス、

今回のランナーはアルトの前川久美子さんです。

■自己紹介をお願いします。

入団約5年のアルト前川です。名古屋市で夫と娘と3人暮らしです。フルタイムで働いていますので仕事中心の生活ですが、合唱は生涯を通じてやり遂げたいことのひとつです。

■続けていらっしゃる事(趣味などでも)何かおありですか？

趣味特技などではありませんが、年収の1%を世の中の役に立つよう寄付しています。金額にすると僅かですが大体は故郷へのふるさと納税です。あるとき故郷へ帰って学生の頃に通っていた通学路を歩いた時にあまりにもひどい状態でショックを受け、市役所や商工会の中心になって働く同期生の苦勞を思い、少しでも役に立てればと思いました。

■好きなもの(歌手、本、食べ物、言葉など)お教えてくださいな。

浜崎あゆみさんが大好きです。ライブには毎年行きます。彼女の仕事に対するひたむきな姿勢に魅かれています。

あと、方言ってあたたかくていいですね。夫の転勤について行くうちにその地方の方言が家族の誰よりも早く身につき馴染んでしまいます。この頃は自覚のないままいろんな方言が混ざって喋ってしまうときがあり、相手に話しが伝わらず、反省することもあります。でも方言って好きです。

■お心に残っている思い出、旅行先などは？

2月に行った韓国旅行は生涯の思い出です。社会人になった娘2人と初めて海外旅行に行きました。2泊3日の旅でしたが、娘たちがいろいろプランを考えてくれて気兼ねなくのんびりと過ごし、美味しいものも食べることができました。また女3人で旅行に行く予定です。

■合唱のご経験は？

はじめは小学校のお母さんコーラス、セミプロの女声合唱団(肝試し状態で誘われるまま入団)、そして新聞社付の合唱団、オーケストラアンサンブル金沢合唱団(緊張の本格的オーディション初体験)etc いろいろな指導者にもめぐり合い今に至っています。皆さんに支えられて続けていくことができました。これからもずっと歌っていきたいと思っています。

■ご入団のきっかけは？

転勤で引っ越してきてなんの情報もなかったのでHPをいろいろ見て旭混声を見つけました。瀬戸合唱フェスティバルで生の演奏を聴き、響きがきれいでしたので入団を決めました。

■団への思いをひとこと。

音取りを正確に早く仕上げ、アンサンブルに時間をたくさん取れるように練習のやり方をみんなで考えてみてはいかがでしょうか？それから、演奏会があるから練習するのではなくて練習を積み重ねていくうちに誰かに聞いてもらえるといいよね…じゃあ演奏会！と自然な流れで演奏会を開けるといいなあとと思います。

《方言が好き！とおっしゃる前川さんに、周りの人々へのとっても温かいお気持ちを感じました♡

^_^)植村》